

1) システムの名称 :

標準 12 誘導解析機能付心電計 ECG Explorer 500A

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

7. 生理検査系、5. 画像検査系、6. 検体検査系、8. 看護・介護系、10. 手術部・ICU・救急部系、12. 診療録など管理系、17. データ後利用・臨床支援系、18. データ後利用・研究・教育系

3) 特色 :

標準 12 誘導解析機能付心電計 ECG Explorer500A

□検査モード:2パターン

自動モード パソコンのF1 ボタンを押すだけで検査開始から印刷までを自動で行います。  
手動モード 取り込んだ全波形の解析ができ、任意の場所が印刷可能です。

□電子カルテ/ファイリングソフトへの取り込み

患者データ連携、心電図画像データ出力(JPEG/PDF)、画像ファイリングソフトへの取り込みが可能です。

□カラー電極(胸部電極・四肢電極)・一本型心電誘導コード

胸部電極、四肢電極の付け間違い防止に役立ちます。  
材質は塩化銀を採用し大幅にインピーダンスを軽減し綺麗な波形をとることができます。  
誘導コードは胸部部分を一本につなげコードが絡む煩わしさや間違い防止に役立ちます。

□印刷はお手持ちのプリンタで印刷可能

記録 12ch×1(縦向き/横向き)  
1 誘導の連続波形(縦向き/横向き)  
3ch×4+1 リズム誘導(縦向き/横向き)  
3ch×4+3 リズム誘導(縦向き/横向き)  
6ch×2+1 リズム誘導(縦向き/横向き)

4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明 :



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

認可 IEC60601-1・IEC60601-1-2・IEC60601-2-25・IEC60601-2-51  
安全性 クラスⅡ(管理医療機器) BF型  
医療機器認証番号 222AABZX00002000

6) 動作環境(ソフトの場合)、ハードスペック(ハードの場合) :

対応 OS :  
Windows XP (32bit)  
Windows Vista (32bit)  
Windows7 (32bit/64bit)  
CPU :Pentium/Celeron 1.2GHz 以上・RAM 2GB 以上  
ハードディスク :40GB 以上  
ドライブ :CD-ROM ドライブ  
入力ポート: USB

画面解像度 :1024×768px 以上

\*安全規格上、ノートパソコンでのご使用を推奨しています。

但し、アイソレーション電源を使用すれば、デスクトップでの使用が可能です。

7) 稼動までに必要な作業・期間:

パソコンに付属のソフトをインストール・設定後、すぐに使用可能

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い):

155,400 円 (税込)

9) 保守の内容と費用:

アンプ部の故障時はセンドバック方式にて代替機の送付 消耗品は別途有償交換  
心電ケーブルは納品後、1年間無償交換にて保守

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もしも別途あれば):

製造元 jinco Medica Equipment Co. Ltd.

【問い合わせ先】

三栄メディシス株式会社 <http://www.pc-ecg.com/>  
〒607-8116 京都府京都市山科区小山镇守町14番地1

電話 0120-075-099

E-mail info@pc-ecg.com

担当 医療機器事業部 開発 勝 (かいはつ まさる)